

●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

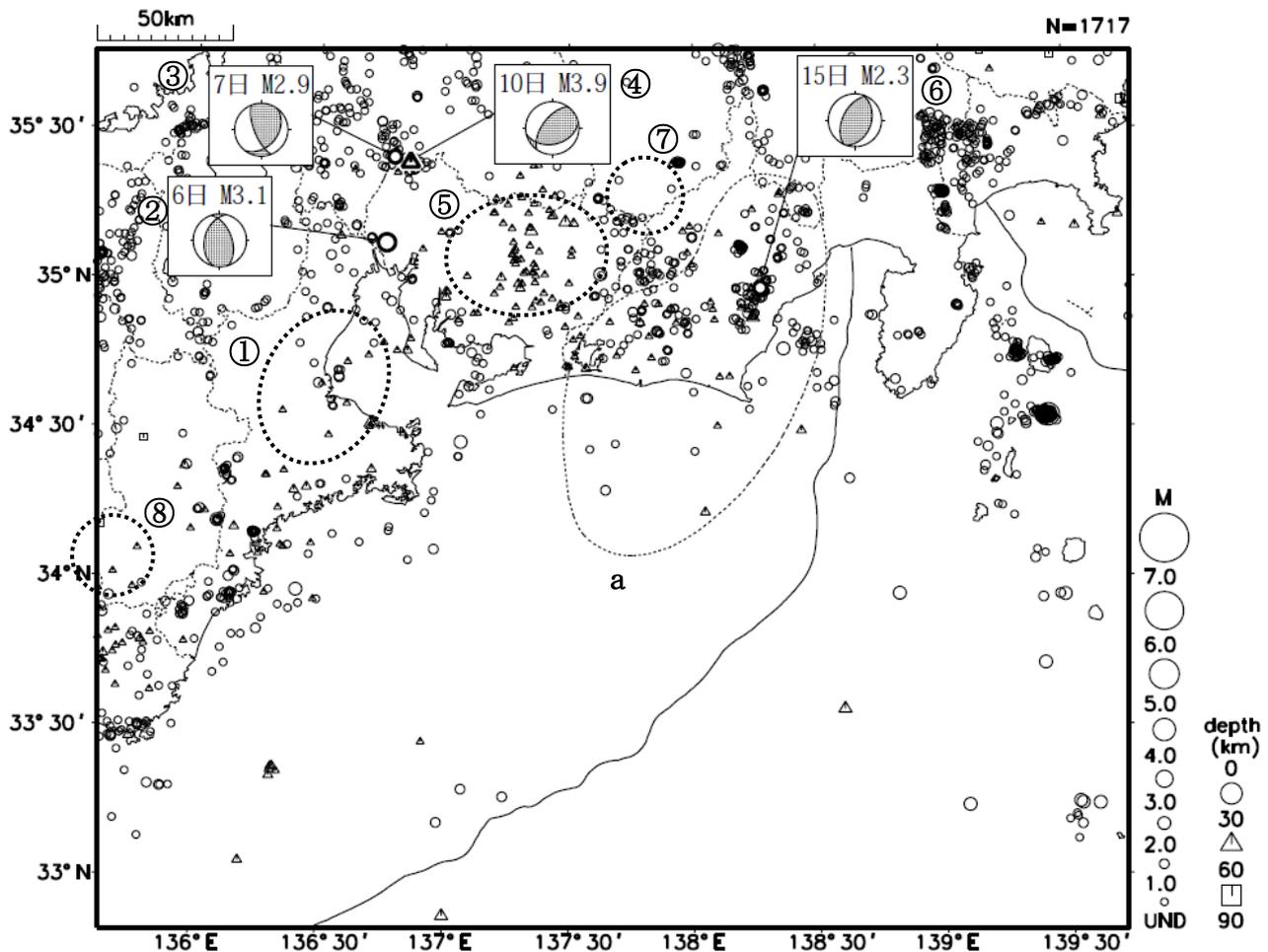


図1 震央分布図(2017年5月1日~31日:深さ0~90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。)

[概況]

特に目立った活動はなかった。

- ① 5月4日から8日、10日、及び12日から13日にかけて、三重県から伊勢湾を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ② 5月6日14時47分に、愛知県西部の深さ12kmでM3.1の地震(最大震度1)が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した。
- ③ 5月7日14時12分に、岐阜県美濃中西部の深さ17kmでM2.9の地震(最大震度1)が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ型で、地殻内で発生した。
- ④ 5月10日23時11分に、岐阜県美濃中西部の深さ42kmでM3.9の地震(最大震度2)が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。
- ⑤ 5月10日、17日から18日、及び21日から23日にかけて、愛知県を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ⑥ 5月15日18時36分に、静岡県中部の深さ17kmでM2.3の地震が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、プレート境界付近で発生した。5月15日から17日にかけて、静岡県中部のプレート境界付近で、M2程度以下の地震が一時的に多発した。
- ⑦ 5月17日に長野県南部を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ⑧ 5月23日から24日にかけて、奈良県を震央とする深部低周波地震を観測した。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する